

# とうほんせいそう 東奔西走



▲迫力満点の築山のそりすべり

1/9~11

## 今年は大雪 楽しいな!

コーザン・スペシャルウィーク

1月9日(土)から11日(月)までの3日間、ふおれすと鉱山で『コーザン・スペシャルウィーク』が開かれました。

冬の鉱山を楽しんでもらおうと、毎年恒例のこの企画。今年は例年以上の積雪があり、雪あそびを楽しもうと、3日間で約400人が訪れました。

会場では、コーザンもちつき、長ぐつホッケー大会、冬の科学実験、みかん探し、冬季森ンピックなどのさまざまなプログラムが用意されたほか、そりすべりつるつるリンクなど、いつでも遊べる遊び場があり、たくさんの親子連れなどにぎわいました。

特に、築山のそりすべりは親子で一緒に滑ったり、急斜面を子どもひとりですべったり、暗くなるまで人が減ることなく大人気でした。

1/14

## わが家の自慢の味 集まる

第33回つけものフェスティバル

1月14日(木)、市民会館で『第33回つけものフェスティバル』(同実行委員会主催)が開催されました。

この催しは、日本の食文化である漬物を次世代に引き継いでいくため、毎年開催されているもので、今年は、かすづけ、かすみそづけ、さかなづけなどの6部門に『わが家の味』85点が集まりました。

コンクールの審査は、町内会や各種団体の代表、市内の高校生や専門学校生など30人が、各部門に分かれて行い、入賞作を各部門3点ずつ選出しました。

表彰式の後には、出品された漬物の試食が行われ、来場者は漬物を味わいながらレシピを確認したり、入賞者の方に秘訣を聞く様子が見られるなど、日本の伝統食『つけもの』のすばらしさを改めて感じる一日となりました。



▲味わいながらも真剣に審査する審査員

1/10

# 夢と希望を胸に、大人の仲間入り!

## 平成22年登別市成人祭



▲誓いのことばを力強く述べる新成人代表の加藤さん

1月10日(日)、登別マリンパークニクスで『平成22年登別市成人祭』(同実行委員会主催)が行われ、スーツや華やかな振り袖に身を包んだ新成人が大人の仲間入りをしました。

今年の新成人は、男性40人、女性24人の計64人で、成人祭には364人が参加しました。

式典は、アシカの妙技による祝福で始まり、その後小笠原市長から「人のため、社会のために、自分ができるような事をしたら良いのか、また、どのような事ができるか、しっかりと考えた考えを持ち、責任ある大人になっていただきたい」と激励の言葉が贈られました。続いて新成人代表の上村友哉さんと加藤愛さんが「同じ時代を生きる仲間たちとともに、豊かな個性と人間性を育み、希望に満ちた未来の開拓に努めます」「自然に恵まれたふるさと登別を愛し、より良き市民となるよう努めます」と力強く決意を述べました。

式典の後には、登別温泉の宿泊券などが当たる抽選会が行われ、当選者が出るたびに歓声やどよめきが上がり盛り上がりを見せ、新成人たちは、久しぶりに会った友人と旧交を温めたり、記念写真を撮ったりして和やかなひとときを過ごしていました。